

青少年教育指導者等の養成及び資質向上事業

「第39期はなやまボランティアスクール」

1. 趣旨

全国28施設の国立青少年教育施設でボランティア活動が行える「法人ボランティア養成カリキュラム」において、ボランティア活動に必要な理論と技術についての実践的な研修を行い、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。また、希望者はさらにスキルアップの機会を持ち、楽しく安全に活動を指導するために自然体験活動指導者（NEAL）リーダーの資格を取得できる。

2. 事業の概要

(1) 期日 平成30年5月26日（土）～5月27日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

①参加対象 高校生以上のボランティア活動を志す方（一般成人・学生・高校生） 40名

②参加人数 67名

		10代	20代	60代
男性	36名	13名	21名	2名
女性	31名	10名	21名	0名

【参加者の所属先】

- ・オーエンス泉岳自然ふれあい館 ・岩手県立県南青少年の家 ・宮城学院女子大学
- ・宮城県仙台二華高等学校 ・宮城県古川黎明高等学校 ・尚絅学院大学
- ・宮城大学 ・仙台大学 ・国際マルチビジネス専門学校 ・聖和学園短期大学
- ・東北学院大学 ・東北工業大学 ・東北福祉大学

3. 企画運営のポイント

- ①ボランティアへの理解を促し、活動するボランティアを増やすため、講義の一部を利用した広報活動などで、高等学校や短期大学、大学等へ参加を積極的に呼びかけた。
- ②先輩ボランティアに企画運営を任せるコマを設ける等、身近なモデルとして活躍することでボランティアの役割のイメージを持たせ、今後のボランティア活動につながるようにした。

4. 日程 「法人ボランティア養成カリキュラム」科目名で記載

	5月26日（土）	5月27日（日）
午前	<開講式> 9:30 <説明Ⅰ> 9:50～10:50 「青少年教育施設におけるボランティア活動」 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 先輩ボランティア <講義Ⅰ> 11:00～12:30 「青少年教育」 [講師] 宮城教育大学 教授 梨本雄太郎 氏	<講義・演習Ⅱ> 9:00～12:00 「普通救命講習Ⅰ」 [講師] 栗原市消防本部警防課 職員 8名
午後	<講義Ⅱ> 13:30～15:00 「ボランティア活動の意義」 [講師] 宮城教育大学 教授 梨本雄太郎 氏 <講義Ⅲ> 15:10～16:10 「青少年教育施設の現状と運営」 [講師] 国立花山青少年自然の家 所長 山中 和之	<説明Ⅱ> 13:00～14:00 「登録制度について」 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 <閉講式> 14:20 「修了証授与」
夜	[講義・演習Ⅰ] 16:50～20:50 はなやまプログラム体験 「野外炊事～カレーコンテスト～」 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 先輩ボランティア	

5. 主な活動内容



①講義Ⅰ「青少年教育施設におけるボランティア活動」



②講義Ⅲ「青少年教育施設の現状と運営」



③演習Ⅰ「花山プログラム体験・野外炊事」



④講義・演習Ⅱ「普通救命講習Ⅰ」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：60% やや満足：34% やや不満：6% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・短い時期でしたが、沢山のひととコミュニケーション取って楽しい研修でした。
- ・楽しい研修でした、ボランティアとして参加した時に今回学んだことを使えるようにしたい。
- ・法人ボランティア登録の話が聞けて良かったです。
- ・先輩ボランティアの方々の話を聞けて良かったです。
- ・貴重な体験が出来て良かったです。ボランティアの知識を得られました。
- ・沢山の仲間が出来て良かったです。
- ・アイスブレイクの仕方、野外炊事の方法、スタッフの立ち回りなど、多くのことを吸収できました。
- ・青少年施設の歴史について学べて良かったです。
- ・7人グループの野外炊事は想像以上にみんなと仲良くなることができ、とても充実した時間を過ごせました。

(3) 成果

- ・昨年同様に40人定員だったところから67人の参加者を迎えて、多くの人達とコミュニケーションを取ることが出来た。
- ・青少年施設の現状や運営、仕組みについて学ぶことが出来た。

(4) 課題

- ・ボラスクの養成カリキュラムで仕方がないが、座学が多いが、ディスカッションや動きを取り入れながら進めると効果があがると思われる。
- ・大学生の参加者が多いため、キャンセルの連絡を入れてこない学生が多数いた。